

凡例

1. 本報告書は奈良文化財研究所が平成 25 年 8 月から平成 25 年 12 月にかけて行った、西トップ遺跡南祠堂解体修復の記録、第 2 冊目である。
2. 解体修復に際しては、現地文化財保護当局である APSARA（アンコール地域遺跡保護整備局：Authority for the Protection and Management of Angkor and the Region of Siem Reap）の全面的な協力を得るとともに、日本国政府アンコール遺跡救済チーム（JASA）の技術的な支援を受けた。
3. 本書は解体修復に直接関わった企画調整部杉山洋と佐藤由似が、関係する研究員の助言を受けながら執筆と編集に当たった。図版の写真は上記担当者および、現地のカンボジア人施工管理者の撮影による。